

# Subject

## 学科

### Step3 - 学科の学習を始めましょう。 -

戦法が決まったら、あとは敵を倒すのみです。  
 しかし、ここで早まってははいけません。  
 ただ闇雲に攻撃すればいいというわけではありません。  
戦には定石というものがあります。  
 ステップ3では、第一関門である学科について詳しく学習します。

#### 学科試験

学科試験は、建築計画、建築法規、建築構造、建築施工の4科目で構成されています。  
 問題数は、各科目25問、4科目合計100問です。  
 各科目13点以上、かつ、総合点60点以上で合格です。  
 5枝択一マークシート方式です。

#### 学科試験の日程：平成20年7月6日

#### ・ memo

9:45 ~ 10:00 (15分)	注意事項等の説明
10:00 ~ 13:00 (3時間)	学科Ⅰ (建築計画) ・ 学科Ⅱ (建築法規)
13:00 ~ 14:00 (1時間)	休憩
14:00 ~ 14:10 (10分)	注意事項等の説明
14:10 ~ 17:10 (3時間)	学科Ⅲ (建築構造) ・ 学科Ⅳ (建築施工)

学習は、4月からでも十分  
 間にあうが、学習時間は  
 1日1~2時間程度は必要。

# Subject

## 学科

<input type="checkbox"/> 全体	<b>POINT</b>
<p>基本的に学科試験の問題は、問題集を解きながら暗記して覚えます。</p> <p>しかし、少し考えれば解ける問題も多くありますので、無理に暗記だけに頼らず理解して解ける問題もつくるのが大切です。</p>	<p>暗記する問題、理解する問題、捨てる問題という線引きを行うのが大切。</p>
<input type="checkbox"/> 計画の対策	<b>• memo</b>
<p>過去には出ていない問題が最も多く出題され、高得点を得るのが難しい科目です。</p> <p>しかし、室内気候や音・光、建築の形式や特徴など、普段の生活に関連する項目が多く、学習していて楽しい科目でもあります。</p>	<p>計画と法規で3時間なので計画は1時間以内に終わらせる。</p>
<input type="checkbox"/> 法規の対策	
<p>4科目中、1番学習する時間がかかるが、1番高得点を目指せる科目です。</p> <p>そのためか例年、高得点者が多いが、合格者と不合格者の得点差がはっきりと分かります。</p> <p>まずは、法規独特の読み方や法令用語などの約束事に慣れることから始めます。</p> <p>そして、法令集を素早く引き、条文を正しく理解し、解答を的確に導き出すための判断力を養うことが不可欠です。</p>	
<input type="checkbox"/> 構造の対策	<b>• memo</b>
<p>力学の計算問題以外は、過去の本試験の類似問題が比較的多く出題されている科目です。</p> <p>しっかりと過去試験問題を繰り返し解いて高得点を目指します。</p> <p>計算問題もきちんと公式や概念を理解することで、比較的簡単に解けます。</p> <p>木構造・鉄筋コンクリート構造・鉄骨構造、その主要材料の木材・コンクリート・鋼材の出題合計は、出題範囲の約半分です。3種類の素材を比較しながら理解することが重要です。</p>	<p>構造と施工は、暗記して解く問題が多くなるが比較して覚えるなど工夫が必要。</p>
<input type="checkbox"/> 施工の対策	
<p>過去に出題されている内容に新しい出題内容を織り交ぜた問題が多い科目です。</p> <p>覚える数値や用語が最も多く、確実に解答するには、用語や施工方法の正確な記憶が必要となります。ですので、暗記の量が素直に得点に結びつきます。ややこしいところは理屈ぬきに暗記するのみです。</p>	

## Subject

学科

□学科の学習の進め方		
2008/4	5	6
—————> ~3/30		・ memo
法令集の線引きを4月までに終了させておきます。		初めての方は4月までに参考書に目を通しておく。
<—————> 4/1 ~ 4/30 問題集1回目		
まず初めは、 <u>過去問題を10年分解きます</u> 。解答肢を選択するだけでなく全ての設問肢について解きます。暗記する必要はなくてただ解くだけで大丈夫です。		✓ POINT 難しい問題に出くわしたら見なかった事にする。
<—————> 5/1 ~ 5/15 問題集2回目		得意、不得意を把握できれば最後の1ヶ月でなんとでもなるので初めは10年分解く事を優先。
1回目に間違った問題のみ解き、暗記はせず繰り返すことで記憶の定着を図ります。		
<—————> 5/15 ~ 5/30 問題集3回目		・ memo
2回目に間違った問題のみ解き、テキストを参考に間違った問題を理解します。		法規は法令集を試験会場に持ち込めるため、1度解いた問題の解き方を忘れることはほとんどない。
<—————> 6/1 ~ 6/20 問題集4回目		2回目と3回目では忘れない程度に2、3年分程度解くだけにする。
今度は、また過去問題を10年分解き、間違った問題は何度か繰り返して確認します。あいまいな知識を正しく、正確に理解します。ただし、 <u>試験において出題頻度が低く、理解しにくい単元の項目は思い切って捨てます</u> 。		
<—————> 6/20日 ~ 試験前		
総仕上げとして過去試験問題を見返しつつ、模擬試験を数回分解きます。		
□目標		✓ POINT
常に4教科とも15点以上とれるようにします。		20点以上はとる必要がない
目標は、法規を除いた3教科が18点で、法規が20点です。		ので、得意科目ができれば
法規は20点前後はとれますので、法規を除いた3科目で40点以上で合格です。		早めに切り上げる。
つまり、1科目あたり13.33点です。		
そのためにも、 <u>18+20+18+18=74点を確実に狙いに行きます</u> 。		
この辺りを狙うと1教科が悪くても13~14点はとれます。		
□まとめ		
1. <u>まずは、過去試験問題を解きまくる</u> 。		
2. <u>次に、暗記する問題、理解する問題、捨てる問題という線引きを行う</u> 。		